

# えんとつ山が公園になった！

## 「えんとつ」を絆に「子どもが帰ってきたくなるまちづくり」

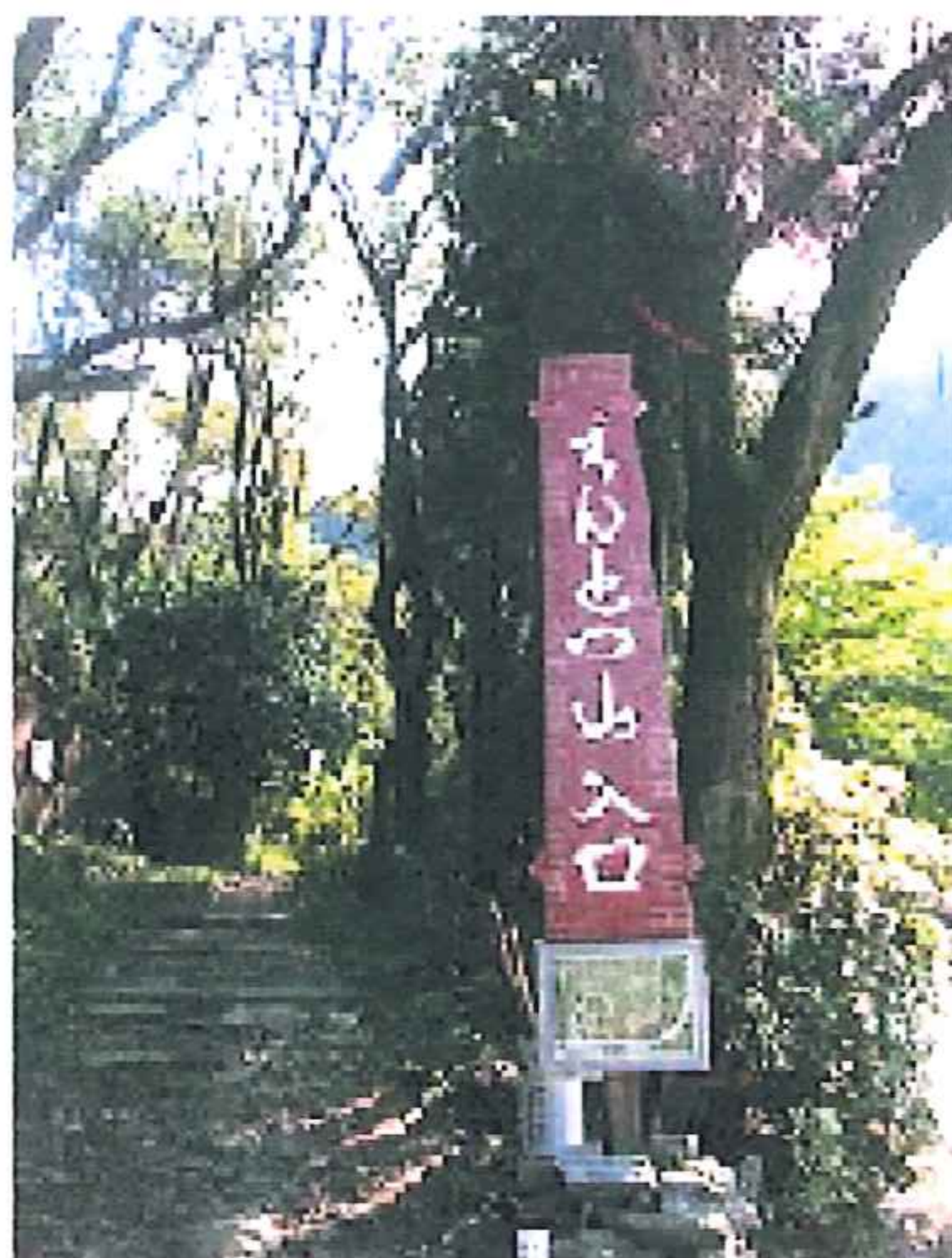
愛着を持って、煙突山に登って頂きありがとうございます

### はじめに

別子銅山の産業遺構のシンボルであると共に、新居浜市のランドマークとしてのえんとつ山が、ここ五年程前まで荒れたままになっていました。子供達が走り回って遊べるように、また市民、とりわけ高齢者に運動の場として活用して元気で長生きして頂くためにも、町の眺望が出来るように整備をしてほしいと平成19年、「煙突山及びその周辺の整備」というテーマで佐々木龍市長に訴えたのが事の始まりです。

### えんとつ山倶楽部とは？

新居浜市では世界に誇れる「近代化産業遺産の保存及び活用のモデル都市」実現に向けて、煙突と周辺地の保存整備を進めております。えんとつ山倶楽部では間伐、植樹作業を中心として各種イベントやHPを通じて、広く呼びか



「えんとつ山」の入口に設置された看板

け、誰もが憩える里山公園づくりを市と協働で推進しております。

### これまでの活動実績は？

#### 平成20年

120周年事業エコキャンドルナイト／えんとつ山同窓会／丸太ベンチ製作と設置（4台）／煙突のライトアップ／「えんとつ山入口」看板製作設置／各種案内表示

#### 平成21年

えんとつ山テーマソング「赤いレンガの煙突」(CD)文センプレ企画発表会(5月)／「山根大通りストリートミュージアム」テーマ「えんとつを見てきた先人達」(11月)

#### 平成22年

日本庭園側からの新登山道建設／文化庁補助事業「別子往還道プロジェクト」記憶の継承、地域の絆」の企画／東洋のマチュピチュ（東平）で「天空に響け！別子銅山の歌」を開催(7月10日)／マチュピチュ写真展(伊予銀行等6会場)

#### 平成23年

煙突補修完工、新道完成お披露目式典(5月)／「別子往還道プロジェクト」記憶の継承」事業継続／間伐整備(通年)第一回植樹

#### 平成24年



「大鉦の歌」ではそろいのネクタイ姿(安孫子尚正さん提供)

日本庭園西側の雑木林を伐採・整地し、「協働の森」(仮称)を継続整備・第二回植樹

#### 植樹

平成25年 第三回植樹・生子山展望台完成

平成26年 第四回植樹・奥の宮間道完成

### 今後は？

山根市民運動公園と一体化した「運動」「ふれ合い」「憩い」の場になることを目標として、煙突の耐震化工事や通路の本格整備と広場の公園化などもあって一段とその目標に近づき、多くの市民の方が登っていただける山となりつつあります。今後も市役所の担当課と協力しながら皆様に支持されるように煙突山の整備作業も継続実践してゆきます。

一方、文化的な面では新居浜市別子銅山遺産課と協働で「別子銅山記憶の継承」という別子往還道(あかがねの道)の市内の各ポイントでの高齢の方からの昔の話を継承するべく聞き取りと記録などを継続してゆきます。

